

令和8年度2学期始業式

いっちきょうりよく

「一致協力」

皆さん、おはようございます。こうして元気に2学期のスタートを迎えられたことを嬉しく思います。

本題に入る前に、この夏に発生した痛ましい災害について触れなければなりません。去る7月28日に熊本県で発生した大震災、そして8月13日から14日にかけて千葉県を襲った豪雨災害により、多くの方々が被災され、尊い命が失われました。ここに、犠牲になられた方々に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。私たちがこうして無事に新学期を迎え、仲間と集える日常が、決して当たり前ではないことを、私たちは改めて心に刻まなければなりません。

さて、1学期の終業式で、私は皆さんに「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」という言葉を送りました。自分の足元をしっかりと見つめ直し、日頃の行動を反省しようというお話です。特に、1学期の成績が思うように振るわなかった人に対しては、「この夏休み中に生活リズムを整え、遅れを取り戻してほしい」と伝えました。皆さん、この夏休み、自分の足元を見つめ直し、次への一歩を踏み出す準備はできたでしょうか。さあ、今日から2学期がスタートします。この後早速授業が始まります。

そこで、今学期のテーマとして皆さんに意識してほしい言葉が「一致協力（いっちきょうりよく）」です。心をついて、互いに力を合わせ、大きな目標に向かって突き進んでほしいと思います。なぜなら、今年の2学期は、皆さんの「一致協力」の力が試される、例年になく挑戦が待っているからです。

まず、いよいよ間近に迫ってきた山高祭（文化祭）です。今年のテーマは「爆裂！山高祭、ばくれつ」ですね。非常に勢いのある、山高生らしいエネルギーを感じるテーマです。しかし、あいにく今年は体育館と中庭が改修工事のため使用できないという、例年になく大きな制限の中での開催となります。「いつもの場所が使えないから、今年は縮小しよう」と諦めるのは簡単です。しかし、山高生の底力はそんなものではないはずです。制限があるからこそ、知恵を出し合う。場所がないなら、新しいアイデアでカバーする。クラスや部活動の仲間と「一致協力」し、この逆境を跳ね返して、文字通りエネルギーを「爆裂」させた、記憶に残る最高の山高祭を作り上げてください。期待しています。

さらに、9月中旬には、新しい試みである「第1回山北高校スポーツフェスティバル」が開催されます。これまで行ってきた中学生向けの文化部・運動部による部活動体験見学会に加え、中学生の競技大会を開催します。今回は、男バレ、男バス、女バス、サッカー、ソフトテニス部が手を挙げてくれました。この大会の主役は、運営スタッフであり、大会実行委員となる生徒の皆さん自身です。顧問の先生方の指導を仰ぎながら、皆さんが主体となって中学生を迎え入れ、大会をスムーズに進行させる役割を担います。山北高校の魅力を中学生や保護者の方々に直接伝える大舞台です。「一致協力」の態勢で臨み、おもてなしの心と、山高生の団結力の高さを地域・社会に示していきましょう。

最後に、3年生の皆さんへ一言伝えます。2学期は、いよいよそれぞれの進路実現に向けた本格的な取り組みが始まります。進路選びや受験、就職試験は、一見すると個人の戦いに見えるかもしれませんが、しかし、決して一人ではありません。先生方からの指導・支援はもちろん、同じ教室で机を並べる仲間が、共に励まし合い、高め合う「一致協力」の雰囲気こそが、学年全体の進路実現の大きな原動力になります。全員が希望の進路を切り拓けるよう、最後まで粘り強く、一步一步進んでいってください。

制限や新しい挑戦を乗り越えた先には、必ず皆さんの大きな成長があります。日常への感謝を忘れず、この2学期、山高生全員の心をついて、「一致協力」して素晴らしい学校生活を創り上げて、最高の2学期にしていきましょう。